

令和4年度幼児に関する歯科保健行動調査結果の概要（速報版）

1. 調査目的

宮城県では、歯と口腔の健康づくりを推進するため、平成30年3月に宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画を策定し、ライフステージごとに、達成指標を設定しており、乳幼児期の達成指標としては、①3歳児の一人平均むし歯数、②3歳児におけるむし歯のない人の割合、③3歳児までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合、④3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の4つを設定している。

これらの指標と、県民の歯と口腔の健康状況を把握するため、宮城県が県内各市区町村の協力を得て、令和4年8月から11月までの間に実施する3歳児健康診査時に保護者に対するアンケート調査を実施した。

2. 実施主体 宮城県

3. 調査対象 令和4年8月から11月までの間に3歳児健康診査を受健した保護者

4. 調査方法

県から市町村へ調査票を送付。市町村は3歳児健診のお知らせ送付又は健診時に保護者等へ「調査票」を配布して記入を依頼し、健診当日に回収。県が調査票をとりまとめ、結果を集計・分析。

5. 調査期間 令和4年8月から11月

6. 調査結果

(1) 協力人数（率）について

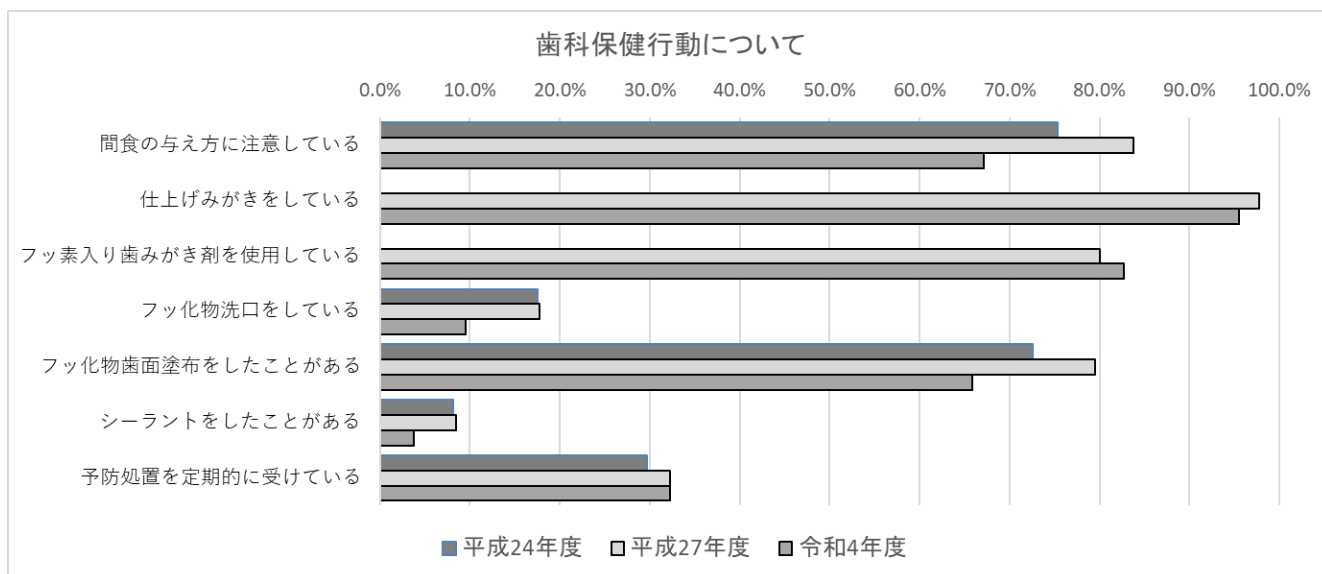
3歳児歯科健診受診者数は1,217人、そのうち回答者数は1,012人で、協力率は83.2%であった。前回平成27年度調査の協力率79.8%（3歳児歯科健診受診者数1,108人、回答者数884人）から3.4ポイント増加した。

(3) 歯科保健行動について

3歳児の保護者に対し、歯科保健行動の実施状況をアンケートにより調査し、実施割合は下記のとおりであった。

項目	平成24年度	平成27年度	令和4年度
間食の与え方に注意している（決められた時間に食べる、遊びながら食べない、夜歯をみがいた後には食べない等）	75.3%	83.8%	67.1%
保護者（大人）による歯みがき（仕上げみがき）をしている	-	97.7%	95.6%
歯みがきの時に、フッ素入り歯みがき剤を使用している	-	80.1%	82.7%
フッ化物溶液（フッ化物洗口液）でブクブクうがいをしている	17.5%	17.8%	9.5%
今までに一度でも、歯にフッ素を塗布（フッ化物歯面塗布）したことがある	72.5%	79.5%	65.9%
シーラント（予防充填）をしたことがある	8.2%	8.5%	3.8%
かかりつけ歯科医院で、フッ素塗布やシーラントなどの予防処置を定期的に受けている	29.7%	32.2%	32.2%

「フッ化物溶液（フッ化物洗口液）でブクブクうがいをしている」、「今までに一度でも、歯にフッ素を塗布（フッ化物歯面塗布）したことがある」などの割合が、前回調査から減少している。

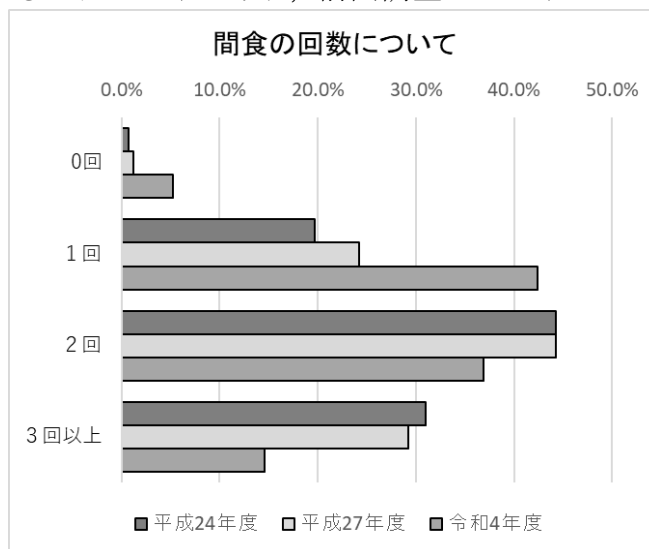


※「保護者（大人）による歯みがき（仕上げみがき）をしている」、「歯みがきの時に、フッ素入り歯みがき剤を使用している」については、平成24年度調査時は質問項目になかったもの。

（４）間食について

間食の回数について、3回以上間食しているのは14.5%であり、前回調査の29.2%から減少していた。

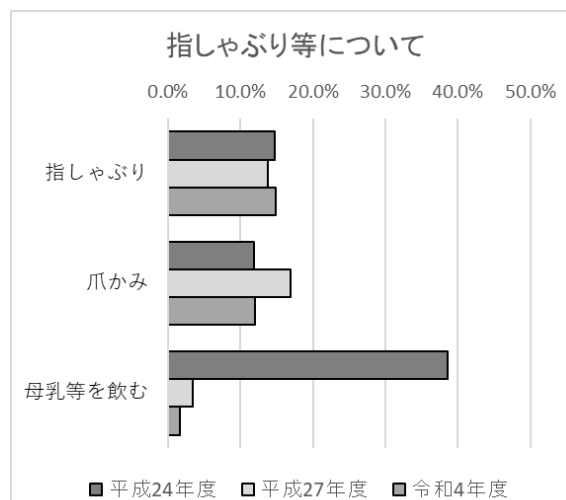
間食の回数	平成24年度	平成27年度	令和4年度
0回	0.8%	1.2%	5.2%
1回	19.6%	24.2%	42.4%
2回	45.7%	44.2%	36.9%
3回以上	31.0%	29.2%	14.5%



（５）指しゃぶり等について

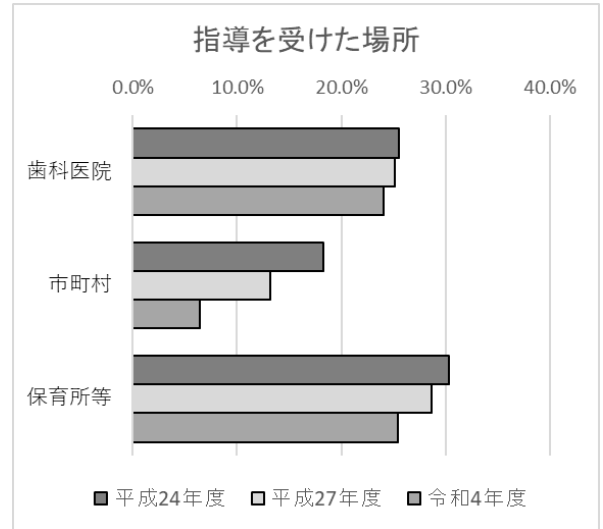
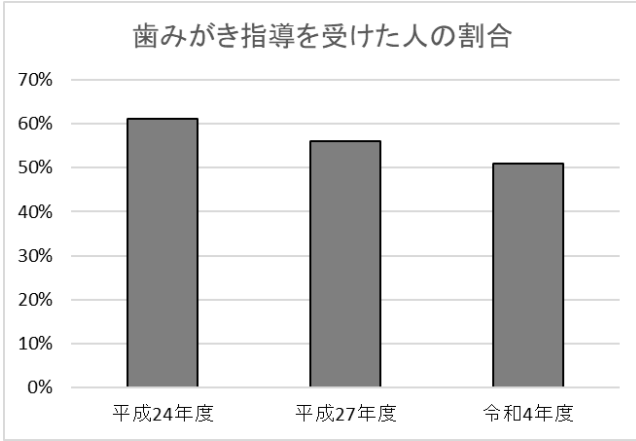
口に関する癖や習慣の状況について、母乳等を飲む習慣を持つ幼児は減っている。

項目	平成24年度	平成27年度	令和4年度
指しゃぶりをする	14.7%	13.8%	14.8%
爪かみをする	11.8%	16.9%	12.1%
母乳や哺乳瓶を使用したミルク等を飲んでいる	38.5%	3.4%	1.7%



(6) 歯みがき指導等について

「お子さんはこの一年間に歯科医院や市町村，保育所・幼稚園等で「歯みがき指導」を受けましたか。」の問いに「受けた」と答えた割合は 51.0%で，前回調査の 56.0%からやや減少した。指導を受けた場所の割合は下記の図のとおり。



(参考) むし歯の有病者率及び1人あたりのむし歯本数について

3歳児歯科健診の結果を集計した，むし歯の有病者率及び1人あたりのむし歯本数は下記のとおりとなった。

	平成24年度	平成27年度	令和4年度
有病者率 (%)	30.6%	26.4%	11.3%
1人あたりのむし歯本数 (本)	1.32	1.05	0.34

